

Q&A

一般質問



さいとう よしあき
齊藤 義明 議員
自民党市政会



市広報紙のおくやみ掲載
終了の経緯は

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により家族葬が増える中、市広報紙のおくやみは貴重な情報源の一つとなっていたが、令和5年3月で掲載を終了することになった経緯は。

A 近年、個人情報に対する意識の変化から、掲載を希望する方の割合が3割から4割程度となっており、また、掲載を希望されなかった方の死亡に関する情報について、市民からの問合せが多くあり、個人情報保護の観点から対応に苦慮している現状にありました。

さらには、県内8市において、死亡者の情報を広報紙に掲載しているのは本市を含めて3市のみとなっていたことから、令和5年4月から広報紙をリニューアルすることに伴い、掲載を終了することとしたものです。

(政策部長)

市民ホールで
大きなイベントを

Q 香川県公立文化施設協議会からの助成金を活用し、市民ホールで市民が楽しめるよう、ミュージカルのようなイベントを開催できないか。

A 令和5年度には、市民ホール前広場の整備を予定していることから、外観だけでなく、開催するイベントについても充実させていきたいと考えています。

ダイナミックなイベントを開催するには、ステージの広さ等に制約があるものの、文化の発信地として、近隣施設で開催している内容などを参考にし、ダイナミックなイベントが開催できるよう検討していきます。

(市長)

質問の主な項目

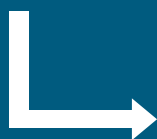
- ・ 施政方針について
- ・ 忠魂碑について

など

変わりゆく坂出 Vol.4 馬返し



平成30年7月
土砂崩れの様子



現在、土砂は取り除かれ、
拡幅のために埋立工事が
進められています。



王越町と大屋富町間の県道16号線は、度々台風により土砂崩れが発生し、通行止めになっていました。そのたびに、トンネルの整備が県道16号線の拡幅がよいのか王越町でも議論がされてきました。

そのような中、平成30年7月豪雨時に坂出側で大小含め16か所もの土砂崩れが発生し、高松側においても土砂崩れが発生したことにより、王越町は孤立状態となりました。その後も、1年にわたり、大型車両の通行止めなどの規制が続き、地元住民からは、安全性が高く、生活道路として機能維持が可能な路線の確保が求められたことから、現在、香川県が実施主体となり道路拡幅整備が進められています。

元知事の金子氏が「こんなに景色のいい道があるのにトンネルは掘らない」と発言されて約半世紀、住民待望の道が完成しようとしています。